

適用規格					
定格	使用温度範囲	-40°C ~ +85°C (90%RH MAX)	保存温度範囲	-40°C ~ +85°C (90%RH MAX)	
	電力	2 W		特性インピーダンス	50Ω (0 ~ 6 GHz)
	特殊性	—		適合ケーブル	—
性能					
	項目	試験方法	規格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		—	—
電氣的性能	接触抵抗	100mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ 100 mΩ以下 外部コネクタ 100 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 100Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 100Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比	周波数 0.045 ~ 3 GHzにて測定する。	VSWR $\boxed{1}$ 1.3 以下	○	—
		周波数 3 ~ 6 GHzにて測定する。	VSWR $\boxed{1}$ 1.7 以下		
	挿入損失	周波数 0.045 ~ 3 GHzにて測定する。	$\boxed{1}$ 0.5 dB以下	○	—
周波数 3 ~ 6 GHzにて測定する。		$\boxed{1}$ 0.7 dB以下			
機械的	単体挿抜力	の鋼製ピンで測定する。	差込力 N以下	—	—
	引抜き力 N以上		—	—	
	総合挿抜力	の鋼製ピンで測定する。	差込力 N以下 引抜き力 N	—	—
性能	繰り返し動作	100万回の抜き差しを行う。	①電圧定在波比 挿入損失 規格を満足すること。$\boxed{2}$ ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 ~ Hz, 片振幅 mm, 加速度 m/s ² で 軸方向各 サイクル 試験する。	① μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	—	—
	耐衝撃性	加速度 m/s ² , 持続時間 ms, 正弦半波 軸方向各 回試験する。		—	—
	ケーブルクランプ部の引っ張り強度	N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損がないこと。	—	—
環境的	湿度サイクルの耐湿性	温度 ~ °C, 湿度 ~ %中に サイクル(時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: MΩ以上(高温時) ② 絶縁抵抗: MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	—	—
	温度サイクル	温度 → → → °C 時間 → → → 分 を サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	—	—
	塩水噴霧	濃度 %の塩水, 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	—	—
△の数 訂正記事 設計 検図 年月日					
備考 RoHS指令適合品。					
① MS-156C3を嵌合した場合の規格。			承認	KH. IKEDA	15.07.13
② MS-156C3(繰返し動作試験試料とは別品)を嵌合した場合の規格。			検図	NK. NINOMIYA	15.07.13
試験規格の記載のない試験方法はIEC-60512を適用している。			担当	RO. FURUYAMA	15.07.13
			製図	RO. FURUYAMA	15.07.13
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC4-360551-00		
HRS	製品規格表		製品名		MS-156-HRMJ-F6
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		CL358-0352-0-00
				0/△	1/1